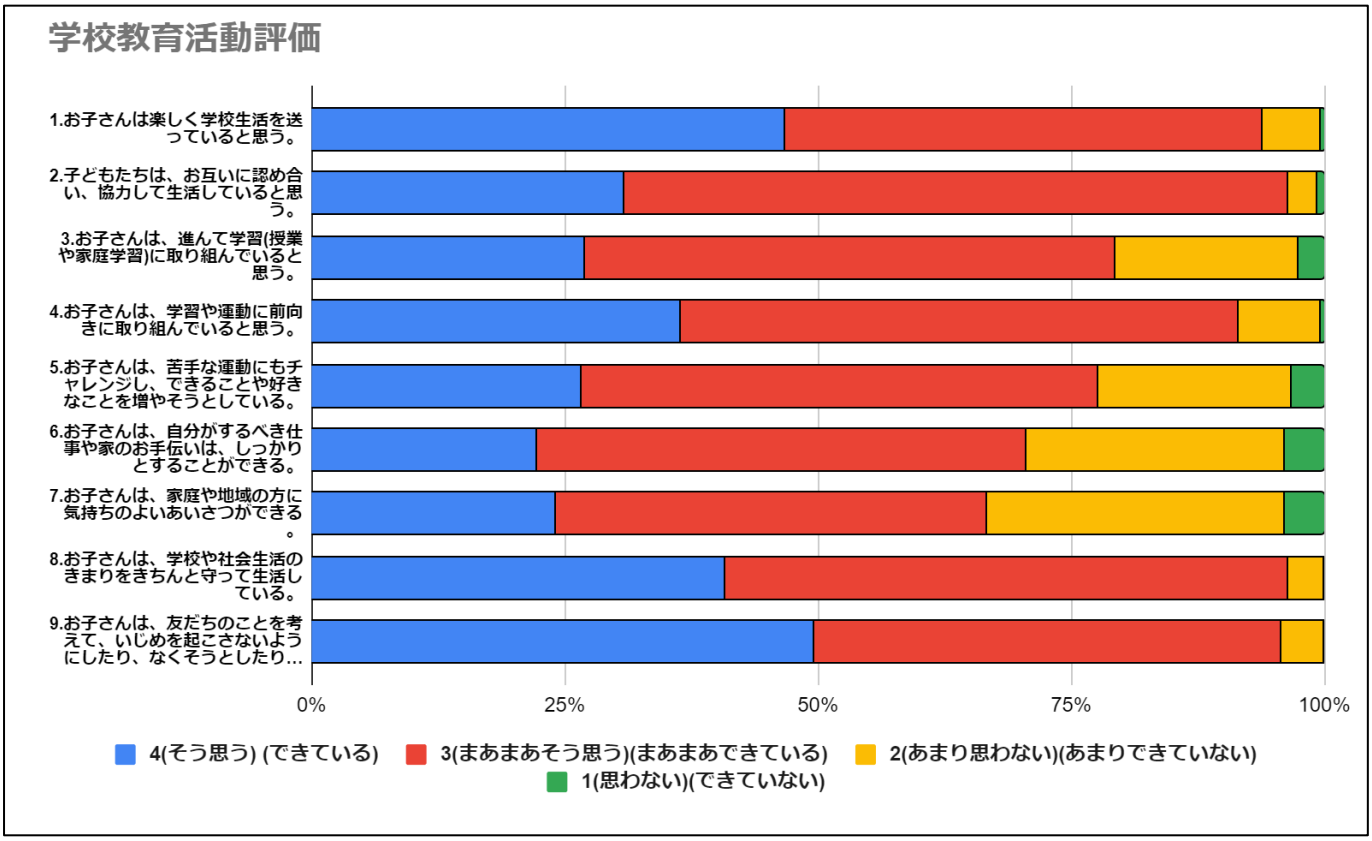
学校教育活動評価について

さて、先月実施いたしました保護者アンケートを次のとおり報告させていただきます。

今回の調査では、280 名（回収率 69%）の皆様よりアンケートにご協力いただきました。ご多用の中にもかかわらずご協力をいただきありがとございました。



本校が大切にしている「たのしさいっぱい」に関連する項目「１．お子さんは楽しく学校生活を送っていると思う」については、肯定的な回答をいただいた割合が 90%を超え、高い結果となりました。今後、「楽しい学級」のさらなる実現に向けても、一人ひとりの子どもの思いに寄り添いながら、安心して過ごせる学級づくりに力を入れて取り組んでいきたいと思います。

一方、「３．お子さんは、進んで学習（授業や家庭学習）に取り組んでいる」については、低い結果となりました。今後も、より多くの子どもに「わかった！」「できた！」を実感させられるような授業づくりをめざし、これまで以上に表現活動を充実させ、「学び合い」を活発にしてまいります。

さらに、生徒指導に関連する項目「７．お子さんは、家庭や地域の方に気持ちのよいあいさつができる」については、肯定的な回答の割合が 66%と、一番低い結果となりました。学校では、児童会活動等で「あいさつ」を呼びかけたり、あいさつ運動を行ったりしておりますが、進んで元気なあいさつができる児童をめざし、さらなる具体策を考えていきます。

あいさつはコミュニケーショを形成するうえで大切な役割をもっています。子どもにあいさつの大切さを教えるためにも、まず我々大人から行動し、手本を示していきたいと思います。

あいさつは、出会ったあなたのことを
「大切に思っています」
という最初の意思表示です

（鎌田洋さんのことば）